

[救心漢方]

さい かん とう

柴陷湯エキス顆粒

「柴陷湯」は、漢方医学の原典『傷寒論』に記載されている「小柴胡湯」と「小陷胸湯」を合わせた薬方で、わが国の経験方として咳や咳による胸痛などに古くから用いられています。

[救心漢方] 柴陷湯エキス顆粒は、この柴陷湯をのみやすいエキス顆粒とした製剤で、次のような症状を目標として使用すると、すぐれた効果をあらわします。

- ◇かぜなどで激しい咳が出る
- ◇気管支炎で痰^{たん}が粘って、切れにくい
- ◇咳や深呼吸をするたびに胸が痛む
- ◇みぞおちからわき腹にかけて苦しく、つまたったような圧迫感がある
- ◇かぜが長引いて、咳や痰が止まらない

⚠ 使用上の注意

☒ してはいけないこと

〔守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起りやすくなる〕
次の人は服用しないこと
生後3カ月未満の乳児



相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師または登録販売者に相談すること
 - (1) 医師の治療を受けている人
 - (2) 妊婦または妊娠していると思われる人
 - (3) 体の虚弱な人(体力の衰えている人、体の弱い人)
 - (4) 高齢者
 - (5) 今までに薬などにより発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人
 - (6) 次の症状のある人
　　むくみ
 - (7) 次の診断を受けた人
　　高血圧、心臓病、腎臓病

2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この説明書を持って医師、薬剤師または登録販売者に相談すること

| 関係部位 | 症 状 |
|------|-----------|
| 皮 膚 | 発疹・発赤、かゆみ |

まれに下記の重篤な症状が起こることがある。その場合は直ちに医師の診療を受けること

| 症状の名称 | 症 状 |
|-----------------|---|
| 偽アルドステロン症、ミオパチー | 手足のだるさ、しびれ、つっぱり感やこわばりに加えて、脱力感、筋肉痛があらわれ、徐々に強くなる。 |

3. 1ヵ月位(せき、胸痛に服用する場合には5~6日間)服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この説明書を持って医師、薬剤師または登録販売者に相談すること
4. 長期連用する場合には、医師、薬剤師または登録販売者に相談すること

効能

体力中等度以上で、ときに脇腹(腹)からみぞおちあたりにかけて苦しく、食欲不振で口が苦く、舌に白苔がつき、強いせきが出てたんが切れにくく、ときに胸痛があるものの次の諸症:せき、胸痛、気管支炎

用法・用量

食前または食間に水またはお湯で服用すること

| 年齢 | 1回量 | 服用回数 |
|-----------|------|------|
| 大人(15才以上) | 1包 | 1日3回 |
| 7~14才 | 2/3包 | |
| 4~6才 | 1/2包 | |
| 2~3才 | 1/3包 | |
| 2才未満 | 1/4包 | |

食間とは…
食後2~3時間
を指します。

- (1)小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させること
(2)1才未満の乳児には、医師の診療を受けさせることを優先し、やむを得ない場合にのみ服用させること

成分

[救心漢方]柴陷湯エキス顆粒は、黄かっ色の顆粒で、3包(1包2g)中、下記生薬の抽出乾燥エキス(柴陷湯乾燥エキス)5,000mgを含有します。

[サイコ5.0g、ハンゲ5.0g、オウゴン3.0g、タイソウ3.0g、ニンジン2.0g、
カンゾウ1.5g、オウレン1.5g、ショウキョウ1.0g、カロニン3.0g]
添加物として乳糖、ヒドロキシプロピルセルロース、ヒドロキシプロピルスルターチを含有します。

保管および取扱い上の注意

- (1)直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管すること
(2)小児の手の届かない所に保管すること
(3)他の容器に入れ替えないこと(誤用の原因になつたり品質が変わる。)
(4)1包を分割した残りを服用する場合には、袋の口を折り返して保管し、2日以内に服用すること
(5)使用期限を過ぎた製品は服用しないこと

製品についてのお問い合わせは、お買い求めのお店、または下記にお願いいたします。

救心製薬株式会社 お客様相談室

電話：03-5385-3211(代表)

受付時間：9:00~17:00(土、日、祝日、弊社休業日を除く)

